

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 1月

令和6年1月1日の推計人口 1,263,819人
世帯数 558,240世帯
参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和6年1月1日現在の推計人口は、1,263,819人で、前月(1,265,037)に比べ1,218人の減少となった。

市部では、大村市(65)、雲仙市(8)の2市で増加し、長崎市(427)、佐世保市(232)、諫早市(76)、南島原市(68)、壱岐市(59)、対馬市(52)、五島市(49)、西海市(41)、平戸市(33)、松浦市(31)、島原市(14)の11市で減少した。

郡部では、波佐見町(6)の1町で増加し、時津町(67)、長与町(56)、川棚町(30)、新上五島町(22)、小値賀町(20)、東彼杵町(10)、佐々町(10)の7町で減少した。

自然動態は、出生数634人、死亡数1,703人で1,069人の減少、社会動態は、転入者数2,530人(県内転入を含む)、転出者2,679人(県内転出を含む)で、149人の減少となった。

2 世帯数

令和6年1月1日現在の世帯数は、558,240世帯で前月(558,564)に比べ324世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 11月

1人当たり現金給与総額 265,992円
対前月比 6.6%増加
対前年同月比 7.9%減少

1 賃金

11月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は265,992円で、前月に比べ6.6%増加し、前年同月に比べ7.9%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,939円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ0.5%増加した。

特別給与額は19,053円で、前年同月に比べ、23,992円減少した。

2 労働時間

11月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は148.1時間で、前月に比べ2.4%増加し、前年同月に比べ0.4%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は136.7時間で前月に比べ1.9%増加し、前年同月と比べ、0.6%増加した。

所定外労働時間数は11.4時間で、前月に比べ6.6%増加、前年同月に比べ3.4%減少した。

3 雇用

11月の常用労働者数は211,471人で、前月に比べ、3.3%増加し、前年同月に比べ0.8%減少した。

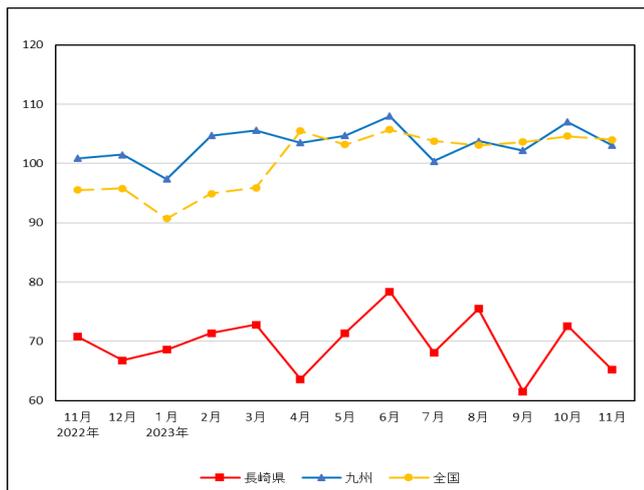
【鉦工業生産指数】……………11月

令和5年11月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	65.2	10.2	66.1	8.6
九州	103.1	3.3	109.4	2.0
全国	104.0	0.9	107.1	1.4

鉦工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年11月の鉦工業生産指数は、季節調整指数が65.2で対前月比は10.2%の低下、原指数は66.1で対前年同月比は8.6%の低下となった。

業種別にみると、電気機械工業、食料品工業など3業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業など10業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	59.9	交流発電機
食料品工業	4.2	その他の調味料

主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	30.9	蒸気タービンの部品・付属品
電子部品・デバイス工業	20.0	半導体集積回路
繊維工業	11.4	漁網・陸上綱

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………12月

総合指数(R2=100)

106.6

対前月比

0.1%下落

対前年同月比

2.7%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、106.6で前月比0.1%の下落であった。

主な上昇要因は「教養娯楽」が0.2%の上昇であった。

主な下落要因は「家具・家事用品」が1.9%の下落、「被服及び履物」が1.0%の下落であった。

前年同月比は、8月は3.4%上昇、9月は2.9%上昇、10月は3.2%上昇、11月は2.7%の上昇と推移した後、12月は2.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.1で前月比0.1%の下落であり、前年同月比は2.3%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

教養娯楽 0.2%

同水準の費目

食料 ±0.0%

住居 ±0.0%

教育 ±0.0%

交通・通信 ±0.0%

下落した費目

家具・家事用品 1.9%

被服及び履物 1.0%

諸雑費 0.2%

光熱・水道 0.1%

保健医療 0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………12月

消費支出(一世帯当たり)

394,245円

前月比

69,176円増加(21.3%)

令和5年12月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は394,245円で、前月比21.3%の増加、前年同月比は25.2%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は44.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。